

鳥たちのファッションショー「トリコレ」開催中!

我孫子市鳥の博物館では、北海道博物館が発案したプロジェクト「おうちミュージアム」に参加しています。おうちミュージアムは新型コロナウイルスの影響により、これまでのように外出できなくなったこの時期に、おうちで楽しく学べるアイデアを発信しようという試みです。現在、全国の約230の様々な分野の施設が参加しており、各ウェブサイトで工作、クイズ、映像など色々なコンテンツを紹介しています。

当館ではプロジェクトの一環で、博物館の収蔵標本が360度回転する動画が楽しめる「トリコレ」をInstagramで公開しています。普段、展示していない標本や、なかなか見られない標本の後ろ姿を見ることができます。ご興味ある方は、ぜひご覧ください(閲覧にはInstagramへのログインが必要です)。

また、鳥の博物館のおうちミュージアムのサイトでは鳥のくちばしやあしのクイズ、おうちで印刷して楽しめる鳥のぬり絵を楽しむことができます。今後も鳥や我孫子の自然について学べるコンテンツを増やしていく予定です。おうちで過ごしながら「とりはく」を楽しんでみましょう!



鳥収蔵標本コレクションが閲覧できるトリコレ

おうちミュージアムウェブサイトはこちら(北海道博物館ウェブサイトへ)→
<https://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/ouchi-museum/>



Instagram

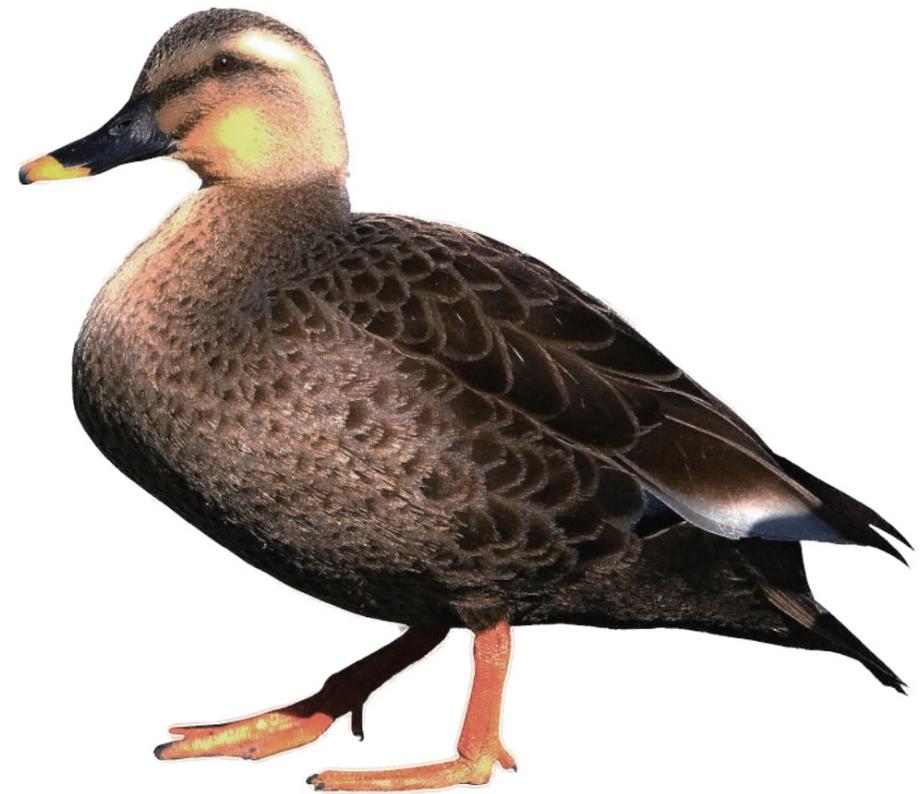


トリコレ QR コード

あびこ鳥だより

2021
No.1

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.60



鳥の博物館における新型コロナウイルスに関連した対応について

新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対策のため、入館時に入館記録票への連絡先の記入・手指消毒・マスク着用をお願いしています。また入館者数の制限を設けています。

今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況により、予定しているイベント等を中止・延期とする場合があります。イベントの詳細につきましては、博物館ウェブサイトのイベント情報または広報あびこでお知らせする予定です。

利用案内

- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、館内整理日、年末年始(12/29～1/4)

	区分	個人	団体
入館料 (当日有効)	一般	300円	240円
	高校生・大学生	200円	160円
3館共通入館料 (1か月有効)*	一般	500円	
	高校生・大学生	400円	

- ・入館料免除の方①70歳以上の方 ②障害者手帳等をお持ちの方(付き添い1名含む)
- ・中学生以下の方は入館無料
- *白樺文学館、杉村楚人冠記念館との共通券

●お問い合わせ：我孫子市鳥の博物館

〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 234-3
 ☎: 04-7185-2212 FAX: 04-7185-0639

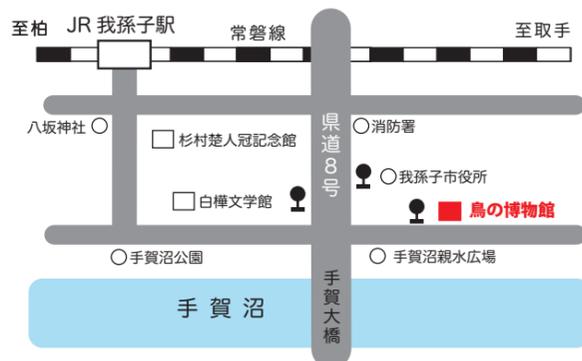


交通案内

JR 我孫子駅南口バス停より市役所経由
 バスで「市役所」下車、徒歩5分

*毎週土日祝日は博物館経由のバスが運行しています

我孫子駅南口バス停より、天王台行きバスで「鳥の博物館前」下車
 天王台駅南口バス停より、我孫子駅行きバスで「鳥の博物館前」下車
 自動車利用の方は地図をご覧ください(駐車場無料/大型バス駐車可)



特集「DNA から見たキジバトの複雑な歴史」 「3D プリンタープロジェクト始動」

表紙の鳥 カルガモ

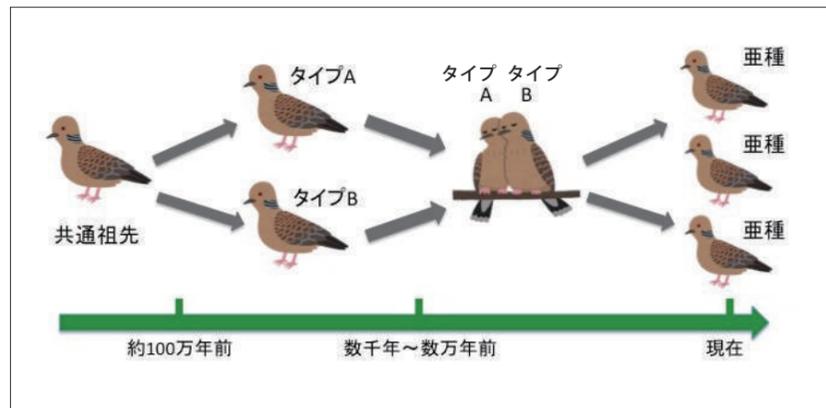
皆様はじめまして。昨年9月より鳥の博物館の会計年度任用学芸員となりました。望月と申します。前職では自然公園のビジターセンターで勤務しており、自然環境の調査、剥製や骨格標本の作製、企画展、観察会など鳥を中心とした環境教育に携わっていました。鳥の博物館ではこれまでの経験を活かして博物館をより盛り上げていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。大学院では鳥の分子系統の研究をしているので、その研究についてご紹介したいと思います。

DNA から見たキジバトの複雑な歴史

近年、DNAの解析によって様々なことが分かるようになってきました。DNAは親から子に代々伝わっていく、生物の設計図です。様々な地域の鳥のDNAを比較し解析をすることで、今現在のことだけでなく、過去の歴史まで明らかにすることが出来ます。DNAには母親から遺伝するミトコンドリアDNAと両親から遺伝する核DNAの2つがあり、その遺伝様式の差を解析に用いるほか、DNA内の変異速度から分岐年代推定をすることが可能です。

大学院ではユーラシア大陸の東側に広く分布するキジバトに注目し、DNAの解析を行いました。日本、中国、台湾、ミャンマー等の様々な地域からキジバトのDNAサンプルを集めて解析を行ったところ、どうやらキジバトは100万年前に2つのグループに一度分かれたあと、数千年から数万年前にその2グループが混ざり、さらに現在の亜種へと分かれつつあるという経緯が明らかになりました。現在生きているキジバトから過去数百万年にわたる歴史が分かる、というのがDNA解析の面白い所です。

この研究は国立科学博物館に保管されているDNAサンプルを多数使わせてもらいました。鳥の博物館でも標本を作る際に筋肉の一部をエタノールで固定し、DNAサンプルとして保管しています。DNAサンプルも博物館資料として収集・保管することで、他の研究者にも活用してもらえたらと思います。



DNAから明らかになったキジバトの歴史

3D プリンタープロジェクト始動

鳥の博物館は、たくさんの骨格標本を持っています。みなさんはじっくりと見たことがありますか？実は、骨を見ると鳥たちの飛び方や食べている物、その個体が生きていた時の年齢など様々なことを知ることが出来ます。教育普及の観点からは標本を手にとってもっと多くの人に見て触ってほしい、とは思うものの、鳥の骨格標本は華奢で壊れやすいことが悩ましく、気軽に触ってもらうことはなかなか出来ません。なんとか鳥の骨を3Dプリントモデル化することで、破損に強く、また複製が可能な標本模型が作れないだろうか、と以前から考えていました。その時、博物館向けの助成事業(全国科学博物館活動等助成事業)があることを知り、この企画で応募したところ、なんと採択されました！現在、骨格標本の3Dデータの作成やプリンターの購入に向けて準備を進めています。完成した3D模型は館内で展示するほか、貸し出し学習セットを作ることで小中学校等の教育機関でも広く使って頂けたらと思っています。3Dプリント模型が完成したらみなさまぜひ手に取って見てみてください。



3Dプリンターで作る予定のカルガモ、スズメ、フクロウ骨格標本

学芸員が毎月行っている手賀沼の鳥類調査の結果です。

科名	種名	個体数(羽)						
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	総計
カモ科	オカヨシガモ	65	25	4	3	0	0	97
	ヒドリガモ	143	192	92	9	0	0	436
	マガモ	458	508	313	50	2	0	1331
	カルガモ	284	154	124	316	27	17	922
	ハシビロガモ	0	0	5	1	0	0	6
	マガモ×カルガモ雑種	1	1	0	0	0	0	2
	オナガガモ	73	29	26	0	0	0	128
	コガモ	243	338	241	150	187	0	1159
	ホシハジロ	21	19	10	0	0	0	50
	キンクロハジロ	0	1	0	0	0	0	1
ミコアイサ	9	8	4	1	0	0	22	
カイツブリ科	カイツブリ	24	33	18	32	27	11	145
	カンムリカイツブリ	82	32	40	24	3	2	183
	ハジロカイツブリ	10	6	5	1	0	0	22
ウ科	カワウ	229	45	47	122	80	47	570
サギ科	アオサギ	36	40	2	33	13	7	131
	ダイサギ	8	8	1	10	9	6	42
	コサギ	12	8	4	11	10	0	45
クイナ科	クイナ	3	3	1	0	0	0	7
	ヒクイナ	0	3	0	2	0	0	5
	バン	4	5	5	2	3	2	21
	オオバン	183	186	140	125	40	10	684
チドリ科	コチドリ	0	0	0	0	3	0	3
シギ科	タシギ	2	0	0	1	1	0	4
カモメ科	ユリカモメ	46	56	0	2	0	0	104
	セグロカモメ	2	1	3	1	0	0	7
	ニシセグロカモメ	1	0	1	1	0	0	3
	大型カモメ不明種	0	1	0	1	0	0	2
	クロハラアジサシ	5	9	1	0	0	0	15
ミサゴ科	ミサゴ	1	1	1	0	1	0	4
タカ科	トビ	0	0	0	1	1	0	2
	オオタカ	0	1	1	0	0	0	2
カワセミ科	カワセミ	6	5	1	6	3	1	22
カラス科	ハシボソガラス	0	3	0	3	0	0	6
ツバメ科	ツバメ	0			0	6	1	7
セキレイ科	ハクセキレイ	0	0	1	0	0	0	1
	セグロセキレイ	0	1	0	1	0	0	2
14科	37種	1951	1722	1091	909	416	104	6193
外来種	コバクチョウ	18	22	31	34	28	19	152

調査日：2020年12月15日、2021年1月20日、2月20日、3月19日、4月23日、5月25日 (9:00~12:00)



カワセミ (1月)



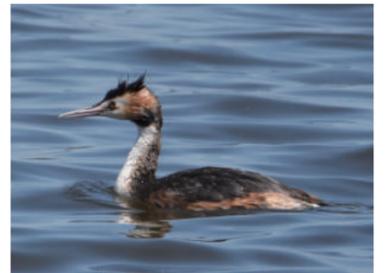
オオタカ (2月)



換羽中のオオジュリン (3月)



コチドリ (4月)



カンムリカイツブリ (4月)

写真は調査区外で撮られたものもあります